

根上中だより

E-mail neagari-jhs@nomi.ed.jp

※ホームページでもぜひご覧ください ⇒



発行者

根上中学校校長 大下 佳宏

TEL 0761-55-0160

FAX 0761-55-0456

■卒業おめでとうございます！～第79回卒業証書授与式～

3月13日(金)、柔らかな春の光も感じられる穏やかな天候のもと、本校卒業式が行われました。前日に配られた卒業アルバムには、まだコロナ禍の影響の残る中、マスク越しの幼くあどけない入学式の姿が映し出されていました。3年の月日は、生徒たちをこれほど成長させるのか、と驚くほど、式場全体から沸き起こる拍手に包まれ入場した卒業生一人一人は立派でした。校長より140名の皆さんに、卒業証書を手渡しましたが、誰もが凛として清々しい表情です。



ご来賓や保護者の皆様に温かく見守られ、厳粛であり、かつ優しく穏やかな空気の中、式は進行していきました。卒業式の歌では、卒業生の歌う「群青」に心打たれました。最後の校歌も、しっかりとした歌声を体育館に響かせてくれました。これからも根上中学校の生徒たちは、確実な成長を見せてくれる、そんな頼もしさを感じました。

ここでは、式辞と送辞・答辞の一部を紹介し、式を振り返ります。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 学校長 式辞より ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

現在の皆さんには、それぞれの「実り」を予感させる力強さが感じられるようになりました。そんな皆さんに、大切にしてほしい「はなむけの言葉」を一つ贈ります。

「実るほど頭(こうべ)を垂れる稲穂かな」

この言葉の出典は不明ですが、聞いたことのある人も多いのではないのでしょうか。稲穂は成長して中身が詰まってくるほど、その重みで自然と頭が下がっていきます。八月下旬から九月にかけて、黄金色に実った稲穂がずっしりとした重みでしなやかな湾曲を描いている様子を見るたびに、この言葉を思い出します。これは、人間に置き換えると、「本当に実力がある人、立派な人格を持っている人ほど、他人に対して謙虚であり、感謝の心を忘れない」という意味になります。私も大好きな言葉です。



これから皆さんが進む新しい世界には、たくさんの挑戦と、それによって得られる成功が待っているはずです。目標を達成したときや、誰かに褒められたとき、人はつい「自分の力だけで成し遂げた」と誇らしくなり、時には周囲を見下してしまうこともあるかもしれません。しかし、そんな時こそ、この稲穂の姿を思い出してください。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 送辞(在校生代表:原 詩乃さん)より ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

皆さんの課題曲であった「いのちの歌」の歌詞にある

「この星の片隅で巡り会えた奇跡は、どんな宝石よりも大切な宝物」。

この広い世界の中で、この根上中学校という学びの場で、同じ目標に向かって笑い、泣き、汗を流した仲間たち。きっと先輩方が巡り会えた奇跡は、どんなものよりも大切な宝物となることでしょう。

そんな先輩方の背中から、隣にいる友達を大切に思うことの尊さを教えていただきました。先輩

方がお互いを信頼し、時に競い合い、最後には笑い合ってきたその絆は、私たち後輩にとって何よりもまぶしい憧れでした。

辛いとき、隣を見れば友達がいる。そんな揺るぎない関係があったからこそ、私たちも迷わず先輩方についていくことができたのだと、今改めて感じています。



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 答辞(卒業生代表:中村まつりさん)より ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

私たちの学年目標は、「残心～自信の心・努力の心・感謝の心～」でした。

行事を通して最上級生としての自信を身につけ、受験を通して努力することの大切さを学び、今、感謝の気持ちを胸に、この学び舎を巣立とうとしています。三年間のすべての経験が、この言葉につながっていると、今強く感じています。



私たちがここまで成長することができたのは、多くの方々の支えがあったからです。いつもそばで励まし合ってきた仲間。どんなときも見守り、支えてくれた家族。時に厳しく、時に温かく、私たち一人一人と真剣に向き合ってくださった先生方。皆さんの存在があったからこそ、私たちは前を向いて歩むことができました。心から感謝しています。

なお、卒業生からは卒業記念品として「テント一式」が学校に寄贈されました。いただいたテントは、運動会などの場面で、暑さをしのぐのに活用させていただきます。皆さん、ありがとうございました！



式を終え卒業生は、教室へ戻り、最後の学級活動を行いました。担任の先生から、卒業証書を改めて受け取り、感慨もひとしおです。3年間の思い出の中で、特にこの1年の出来事がよみがえった瞬間です。一人一人の挨拶の中では、仲間への感謝の気持ちを話す生徒が多く、友達の大切さを実感しました。卒業後も、この仲間たちとの友情を温めていってほしいと願います。



■合格の花～寒芍薬(カンシャクヤク)～

卒業式の週から正面玄関の受付横に白くて可憐な花が活けられていました。寒芍薬という花で、冬の寒さの中で花を咲かせる姿から「合格」の縁起物とされる花だそうです。この花は、茶華道部の活動の中で、お茶の先生が持ってきてくださったと聞いています。3年生への温かな思いやりに触れ、胸が詰まる思いです。地域の方々を含め、本当に多くの皆様に、生徒たちのことを応援していただいている、そのことに感謝の気持ちでいっぱいです。



保護者・地域の皆様 および 日頃より根上中学校を支えてくださっている皆様へ

1年間、様々な形で根上中を応援していただき、ありがとうございました。行き届かぬ点多々あったかと思いますが、皆様のおかげで、一年を無事締めくくることができ、たいへん嬉しく感じております。来年度も、ホームページや根上中だより等で、皆様に学校や生徒たちの様子を発信していきますので、引き続き、ご覧いただければ幸いです。今後とも、根上中学校に対して、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。 学校長